

編み物Labo **いと基地の**

**編み物算数③**

こまあ くさりあ  
**細編み＝鎖編み**

こまあ くさりあ  
**細編みの高さ（立ち上がり目）は鎖編み1個**

編み物算数①の復習にもなりますが、  
「細編みの高さ＝鎖編み1目」と覚えてください。  
細編みは長編みとは違い、「頭」と「足」に分けにくいです。長編みの頭部分だけでできているイメージです。

**編目記号**

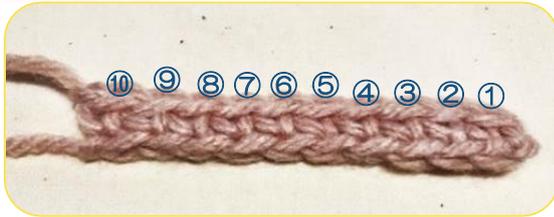


立ち上がり目は「横」では1目分としない

鎖編み1目だけでは次の段を編むとき、きれいに拾える場所がなくなるので「横」では立ち上がり目を1目分とせず、細編みを編む。

立ち上がり（編み目の高さ）＝1目

**実際の編み目**



※細編みが10目ある。  
立ち上がり目は立ち上がるため（高さ分）だけに必要

♪ちょっとコラム♪



長編みと比べて考えると「鎖編みの立ち上がりの目が2目でもよいのでは？」  
と思われた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？編み物算数のセンスあり♡です！  
結論から言いますと「2目でもよいけど、1目のほうがよい」です。  
編み物の失敗でとてもよくあるのが、  
**四角く編んでいるはずなのに**

- ・立ち上がりの目を拾うのを忘れて、編み進めるとだんだん小さくなっていく。
- ・立ち上がりの目を拾ってしまって、編み進めるとだんだん大きくなっていく。

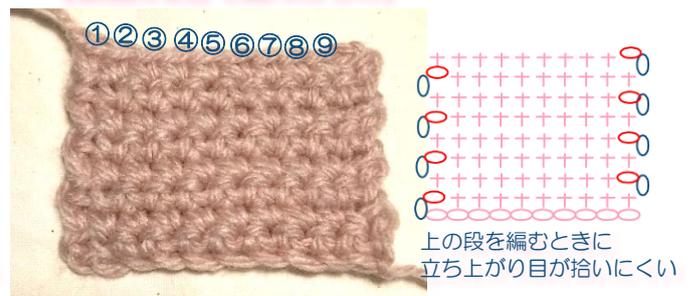
というものです。

この間違いをしなければ理屈的にはどちらでもよいのですが、立ち上がり1目のほうが「**編みやすい**」です。  
編みやすさというのは、作品を作る上で一番大事な「**美しい・かわいい・素敵**」にもつながります。

**【鎖編み1目で編んだもの】**



**【鎖編み2目で編んだもの】**



細編みの場合見た目にはそんなには違いが出ませんが、編みやすさは、「立ち上がり1目」のほうが  
だんぜん編みやすいです。

編み物の長い歴史の中、「編みやすさ」「仕上がりの美しさ」を考えて、世界中にひろまり、受け継がれ  
工夫されてきたんだなぁと思うと、心があたたかくなる気がします。